

平成 31 年度 学校関係者評価報告書

国際アート&デザイン大学校

学校評価委員会

令和 2 年 10 月 20 日

「平成 31 年度学校関係者評価」の実施結果と今後の課題

1. 学校法人新潟総合学院 国際アート&デザイン大学校における「平成 31 年度 学校 関係者評価」は、令和 2 年 6 月 21 日に学内評価委員による自己点検評価を実施し、令和 2 年 8 月 20 日に教職員全員による自己点検評価の確認会を実施した。令和 2 年 10 月 19 日には、学校評価委員会を開催し広く意見交換を実施した。各委員からの意見を集約し、学校評価委員 2 名と学内評価委員 5 名の計 7 名で学校関係者評価を実施し、本書の通り報告書をまとめた。
2. 全国専門学校経営研究会版「作成マニュアル」の自己点検・評価基準をベースに自己点検・評価を行い、不備な点等の改善について今後の方向性を協議するとともに、次年度以降の取り組み課題を明確にした。
3. 平成 31 年度学校関係者評価を受け、一定の方向性を持って学校評価を進めていくことにより、質の保証・向上のなお一層の取組充 実が図れるよう努めていきたい。

学校関係者評価報告書（学校関係者評価委員会）報告

- 1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標自己点検・評価項目
・教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等

建学の精神

「教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。」

教育方針

本校はデザイン・エンターテイメントにおける技術と知識の習得を基に実社会において優れた人材として活躍できる人間の育成を目標とする。

- ①デザイン・エンターテイメントにおける創造力及び実践技術の向上と育成
- ②豊かな人間性と礼節を重んじる社会人の育成
- ③建設的な強い意志を持ち行動力に富んだ人間の育成

校訓

誠実 明朗 進取

建学の精神を基礎に、教育方針、教訓等が明文化されており、学生の手引き、学校パンフレット、ホームページ上でも公表されている。保護者会等の行事で配布する資料等においても、積極的に教育目的・目標を公表している。

課題である年間学校行事スケジュール公表は、ホームページに予定表のページを作り公開をはじめている。

【委員からの意見】

日本人学生については問題ないが、留学生に対して「建学の精神」などの難しい言葉は引き続き見直しをし、しっかりと翻訳して理解して頂ける様に対応してほしい。

2 教育の内容 自己点検・評価項目

・教育カリキュラムの作成について

「職業実践専門課程」の設置により、学科毎にカリキュラム作成委員会を設置し業界関係者にも参画頂きながら教育課程の編成を行っている。年2回の教育課程編成委員会を開催し、業界の動向や委員からの意見を収集し、実習内容を振り返りによってカリキュラムを見直す組織体制が整ってきている。今後も更に実践的な教育課程を検討し改善を図っていく。

【委員からの意見】

・コロナ禍においてコロナ禍での地元企業との連携によるインターンシップを安全に、企業にも理解をもらったうえで実施していく事は可能か？

・カリキュラムの作成等の取り組みについて

年間のカリキュラム予定とシラバスにより講義内容が作成されており、学生や保護者にも学科ごとの概要が配布されている。課題としてはコマシラバスの作成であり詳細な講義要綱等は配布されていないのが現状である。

【委員からの意見】

・コロナ禍において授業計画においての進度の遅れについてどのように対応していくのか？また、遅れが出ないようにどのような工夫をしていくのか？

・教授学習プロセスの改善への取り組みについて

授業内容の改善や学生によるアンケート、授業評価の結果に基づく学校側の改善活動は、教育上必要不可欠であり継続している。アンケートの結果を各教員にフィードバックするとともに、研修や授業観察を実施している。

【委員からの意見】

・学生が先生方や学校に対して意見を言える環境は良いことだと思う。一方的な評価や指導は問題となるケースもあるので、常に公平な教育指導であってほしい。(昨年同様)

・業界ニーズに対応した付加的教育について

主に就職活動の一環として企業での職場実習（インターンシップ）を実施している。他の高等教育機関との連携講座については、ワークショップイベント的に開催することは出来ているので一定期間継続した講座を検討していく。学生同士の国際交流は年々回数が増えているので内容を充実させていきたい。地域・行政との連携は数多く実施している。

【委員からの意見】

・地域のイベントに数多く参加していることは新聞等でも見る事が出来るので、素晴らしい取り組みだと思う。(昨年同様)

・教員の資質維持や向上について

教職員の資質を維持しその専門性や指導能力の向上を図るためにも、教職員に対する研修は必要不可欠である。教員一人ずつの年間研修計画を作成しているが、今後はより専門性の向上を目指して取り組んでいく。

【委員からの意見】

・世間ではいじめの問題等もあり、専門学校における学生指導においては専門以外の知識も必要な時代なので積極的に研修を実施して頂きたい。(昨年同様)

3 教育の実施体制 自己点検・評価項目

・教育環境の整備・活用について

学内外実習時の安全対策については、学科ごとの実習指導時に配布文書で説明している。今

後は学生の手引きにも記載する。

4 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目

- ・教育目標達成への取り組みと評価について

退学者数の公表については、保護者会資料等での公表のみとなっている。

卒業1年後の就業状況の把握については不十分な点があったので、同窓会の案内はがきにより把握に努めた。今後も企業訪問や同窓会等でその把握に努める必要があるが、公開については検討を続ける。

【委員からの意見】

- ・早期離職を防ぐためにも、就職の動機付けと職場体験の機会を増やすことが必要だと思う。地元経済団体との連携を活用してほしい。(昨年同様)
- ・卒業生のその後の動向についてもより詳しい追跡が必要だと思う。

5 学生支援 自己点検・評価項目

- ・上記以外を通じての学生支援について

卒業生に対する職業紹介については希望する場合に実施しており、講習・研修の案内も希望者に対して実施している。

- ・上記以外を通じての学生支援について

保護者の会及び企業の会はまだ組織化されていない。専門学校への保護者理解は必要となるので検討しているが、保護者会としては年間を通して実施されていることと個別相談会も随時対応しているのが現状である。企業の会の設立については、教育課程編成委員会メンバーの他、卒業生の就職先企業を中心に今後検討していく。

【委員からの意見】

コロナ禍において、広告・デザイン分野、各種イベントについて大きく減っている中、国際アート&デザイン大学校における就職先が打撃を受けているのではないか？その場合には早くから対策を立て、行動をしていかないといけないと思う。

6 社会的活動 自己点検・評価項目

- ・社会活動への取組について

地域貢献活動やボランティア活動等は積極的に取り組んでいる。小学生・中学生向けの「お仕事体験」講座の実施や、地域の小学校、中学校、高校からの学校訪問を積極的に受け入れており、出前講座も実施している。

【委員からの意見】

・コロナ禍ではあるが、学生と職員の安全策を主催者と確認した上で、地域イベントへの似顔絵参加の機会を出来る限り参加できるようにしてほしい。

7 管理運営 自己点検・評価項目

これまでの整備課題であった防犯システム設置が完了した。

8 財務 自己点検・評価項目

法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

9 改革・改善 自己点検・評価項目

自己点検・評価を実施して全職員への共有機会を設けている。改善点への対応については、

年度目標として期限があるものについては速やかに対応し、それ以外は継続的に改善へ向けた対応を進めることとする。

今後も学校評価については、自己点検を速やかに実施するとともに全職員で共有する機会を設け、学校評価委員とともに改善項目の取り組みについて継続的に確認を行うこととする。

以上。